

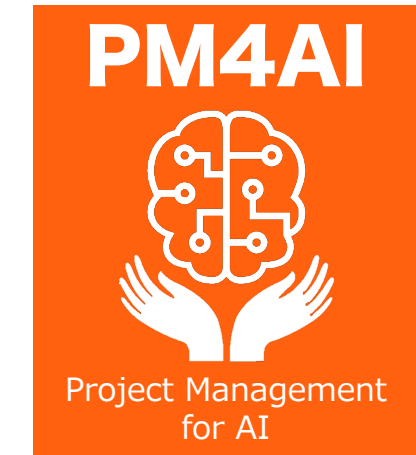
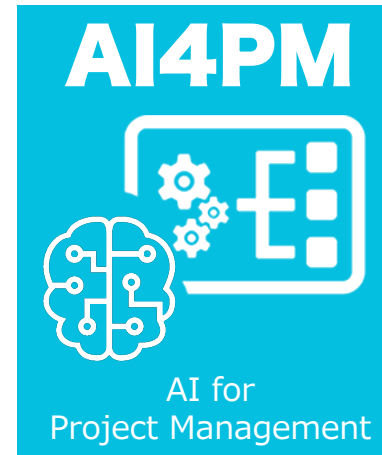
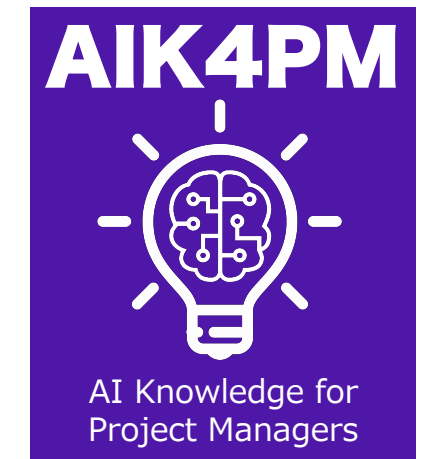
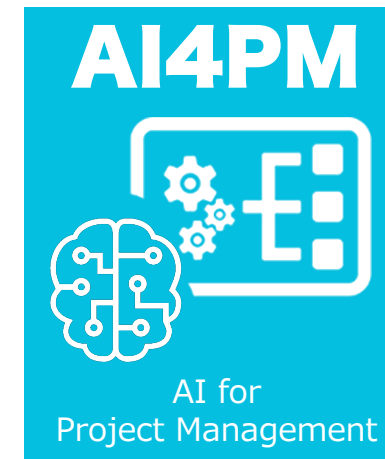
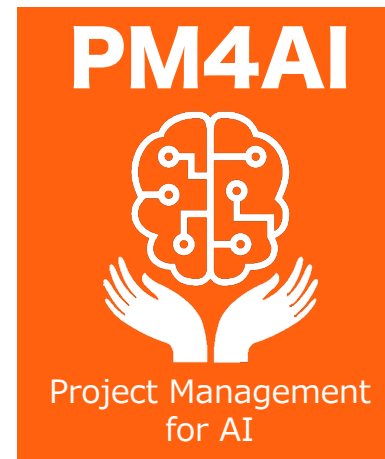
AI@Work 2021中間報告

2021 1H Retrospective

2021年9月15日

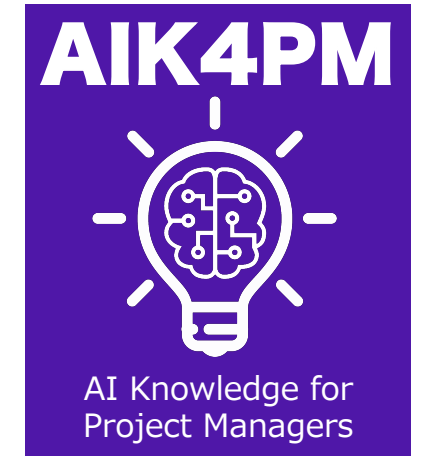
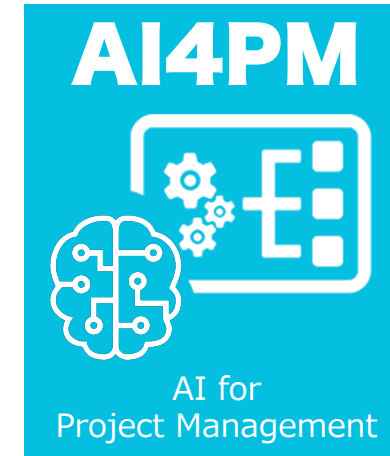
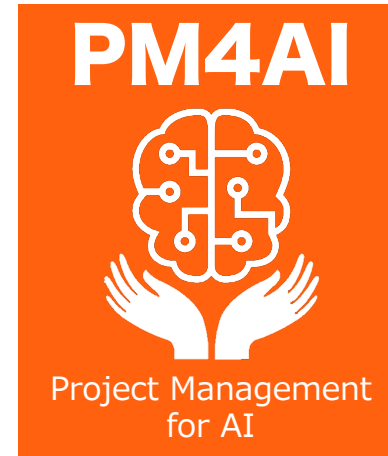
AI@Work Study Group

PMI Japan



AI@Work Study Group 概要 (as of 2021/8/15)

- 2020/1/31 Kick off
- メンバー 162名
- 3 WG: PM4AI, AI4PM, AIK4PM
- 現在Cycle 4 (1 Cycle/半年), 10テーマ並走中
- Slack(Daily) + Web会議(Monthly)
+ AI@Work Conference, SME Discussion



AI@Workの推進体制

WG1

PM4AI
Leader 板橋 宣孝
Sub Leader 小山 恵一郎
運営支援メンバー

AI@Work
代表 武上 弥尋
副代表 渡邊 恒文

AI@Work
運営支援 (TBD)

PMIJ 事務局
三島 邦彦

WG2

AI4PM
Leader 林 克郎
Sub Leader 栗野 哲兵
運営支援メンバー

WG3

AIK4PM
Leader 佐藤 美一
Sub Leader 細水 真人
運営支援メンバー

AI@Work
Advisory Board
PMI WW 神庭 弘年
PMI Japan
森田 公至, 齋藤 学, 松本 弘明

Being AI Ready!



AI@Work – 2021 1H 主要な発信 (as of 2021/8/15)

外部講演者を招いてのイベントを始動、フォーラムも含め、次の知見を発信

AI@Work Conference (第2回: 3/30)

- ・招待講演「AI for DX, DX by AI ~リアルワールドビッグデータを活用するAI技術による価値創出~」
本村 陽一 国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター首席研究員
- ・「AI×PM: PMI Global Trends」
武上 弥尋 AI@Work 代表 日本アイ・ビー・エム株式会社 Data Science & AI Services Certified Executive Project Manager
- ・「MLOpsの今までとこれから ~AIの実社会での活用について~」
岡元 大輔 AI@Work WG1 PM4AI/MLOps研究グループ 富士通株式会社 サービステクノロジー本部 プロジェクトマネージャー

参加者 **331**名

AI@Work SME Discussion (第1回: 4/28)

- ・招待講演「普通の人々の失敗しない新規AI事業の立ち上げ方」 および 質疑応答/ディスカッション
山内 三郎 アースアイズ株式会社 代表取締役

参加者 **221**名

PMI日本フォーラム2021 (7/10-31) AI@Work Study Group 講演

- ・G-6 AIを身に着ける最初の入り口~AI-Readyになるためのファーストステップ~、そしてAIをPMに活用へ
佐藤 美一 SBI FinTech Solutions株式会社 次長
林 克郎 日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェアサービス企画部長
- ・G-7 AI導入プロジェクトを成功させるためにプロジェクトマネージャーが押さえるべきポイント
和田 安有夢 株式会社ベイカレント・コンサルティング パートナー
岡元 大輔 富士通株式会社 サービステクノロジー本部 プロジェクトマネージャー
西山 淳 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 東日本技術第5部 部長代行
- ・G-8 AI×PM: Japan & Global Trends ~ここまでわかった、DS&AIプロジェクトの進め方
武上 弥尋 / 渡邊 恒文 AI@Work 代表

AI4PM (WG2)

AIK4PM (WG3)

PM4AI (WG1)

AI@Work

参考: AI@Work 外部発信 - 参加者区分

AI×PM Being AI Ready!

多数の申込・参加は
趣旨への賛同

特定部会での講演謝礼に関する特例

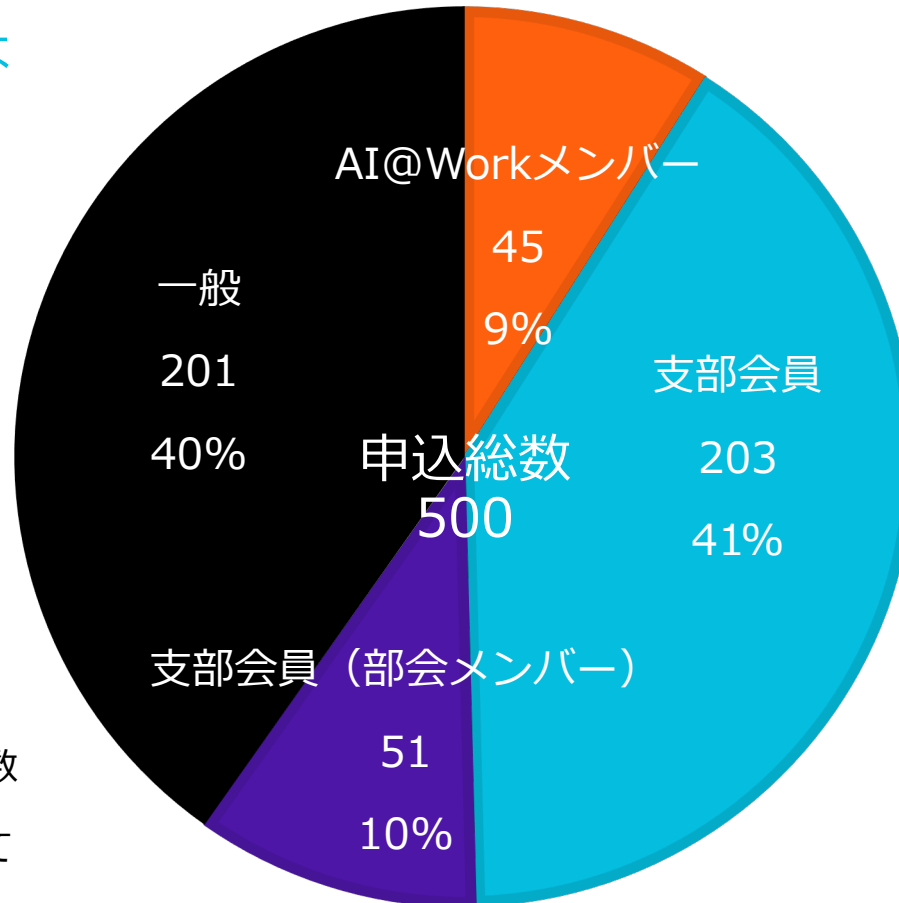
1. PMI日本支部の外に知見のある分野
2. 大人数の参加が見込めるテーマ
3. 支部会員に閉じない運営

いずれの条件に関しても十二分な実績を達成

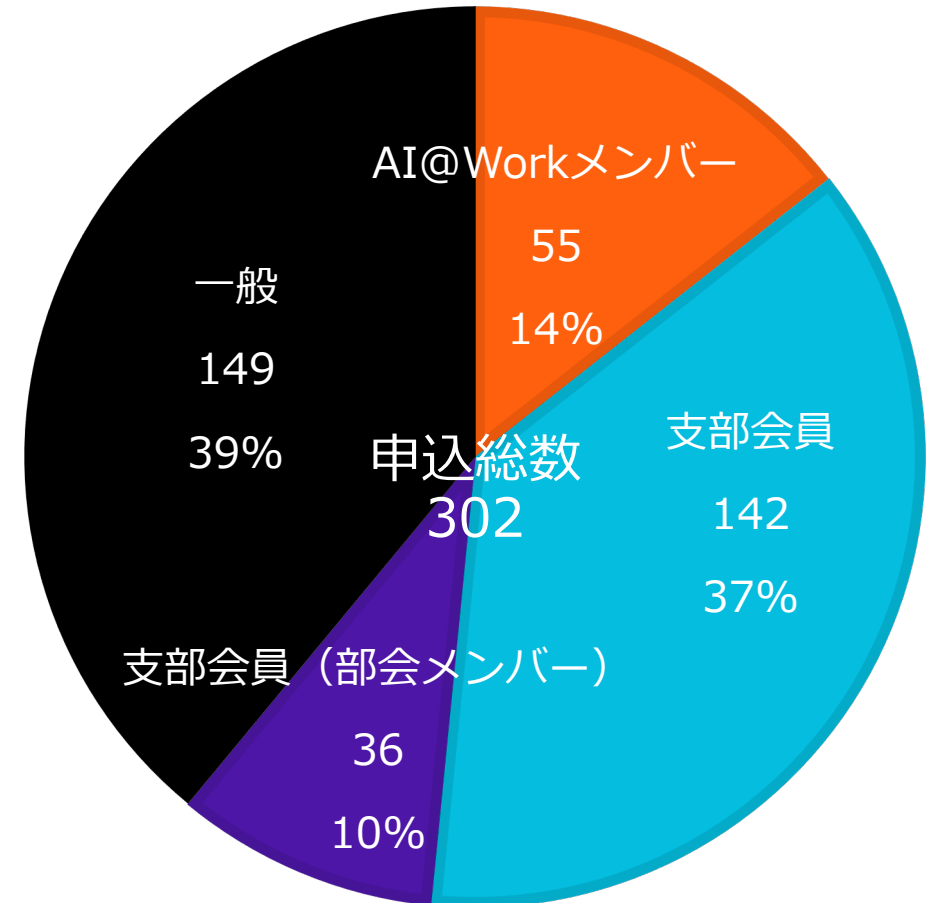
参加総数：当日のZoom参加数

※Zoom契約上限の500名にて
申込は早期打ち切り

AI@Work Conference #2
参加総数 **331名**



SME Discussion #1
参加総数 **221名**



AI@Work – 2021 1Hの成果

(as of 2021/8/15)

2年目となるSlack+Web会議での研究活動、多様な参画者と共に、量と質の両面で拡大中

Big is great

- “AI”として扱われる領域は多岐
- 大人数だからこそできることもある

10テーマ **41**チャンネル

メンバー 2020:125名 → **162**名

Anywhere

- Slack + Web会議、Slackアプリ連携で情報共有もさらに強化
- 場所制約の解放 + 時間の有効活用
COVID-19下でも活動拡大中

Active members (by Slack Analytics) **60-80**

Virtual/Open Collaboration

- Slackアプリ連携で情報共有もさらに強化、送信数は昨年約2倍のペース

Messages sent累計 2020: 4,008 → **8,249**

Diversity

- 多様な実務経験・世代・立場・役割
(ユーザー企業・ITベンダー・AIベンチャー etc.)
- 多様な視点をもたらす新たな気づき

User **34%** IT **49%**

New Generation

- Digital Native世代との協業
PPPM, PMI会員 以外の参加

Non-PMIJ member 2020: 32% → **36%**

Asset & Skill

PMIJ Forum JDLA G検定合格

3枠 (2020:2枠) **3**名 (累計7名)

#2 Conference SME Discussion

331名 (#1:102名) **221**名

参考: Diversity & New Generation による成果 (as of 2021/8/15)

DS&AI専門家やDigital Native世代など、PPPM・PMI会員以外を含む多様な研究活動が実績を創出

Role Model 1

AI/ML Expert

専門: AI・データ利活用の技術支援
(ITベンダー 技術本部、JDLA E資格)

参加動機は「AIプロジェクトを進める際
PMBOKの知識が役立ったから」

MLOpsはじめ複数の研究テーマをリード
PMIJ Forumでの発信、JDLA等でも活動
Digital Native世代、非会員→PMI会員へ

**AI Experts
Youthquake**

Role Model 2

AI Consultant

専門: AI活用支援 (AIベンチャー)
AIの知見も活かした情報共有の場づくり
PM4AIのWG全体 & 研究チームをリード

専門: AI活用支援 (コンサルタント)
PoC-実用化-実用化後の成功要因を整理
参画者の意見導出・まとめの効果的推進

PMIJ Forumでの発信

**Experienced
in DS&AI**

Role Model 3

Leading Global Exchange

海外との連携・発信は日常業務の一部

専門: R&D部門 設計開発担当
PM4AIを総括する広域調査のリード
PMI出版物の翻訳 (DS&AI Playbook)

専門: グローバルIT企業でのマネジャー
AI4PM WGリード、PMIJ Forum発信

**Think Globally
Act Locally**

参考: AI@Work - Slack利用状況 (as of 2021/8/15)

🔧 All-Time Usage

Messages Sent

8,249

out of 10,000 messages



File Storage Used

4 GB

out of 5.0 GB of file storage



Apps and Integrations Installed

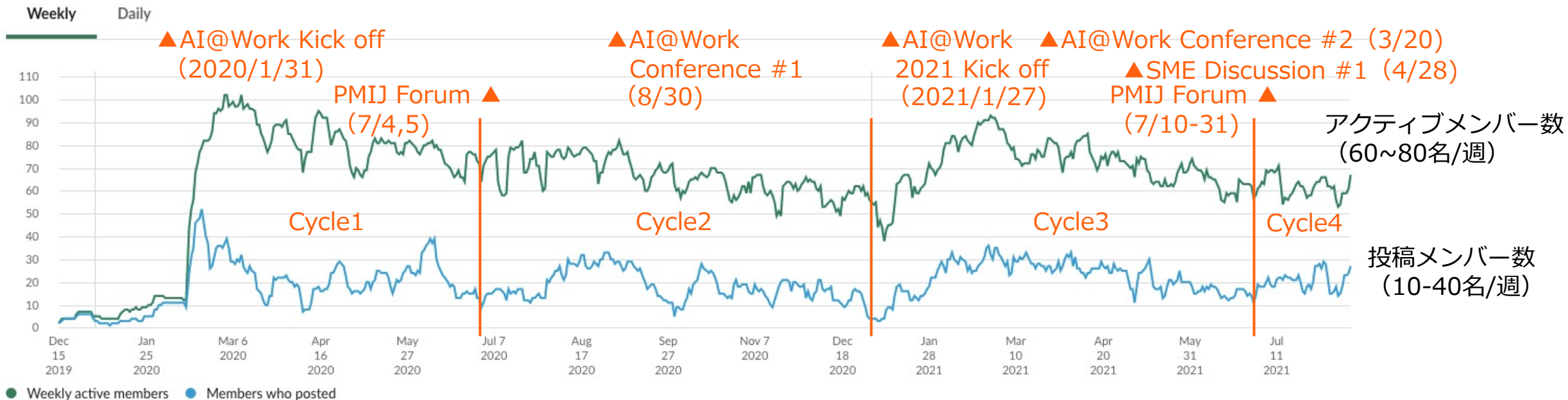
9

out of 10 apps and integrations



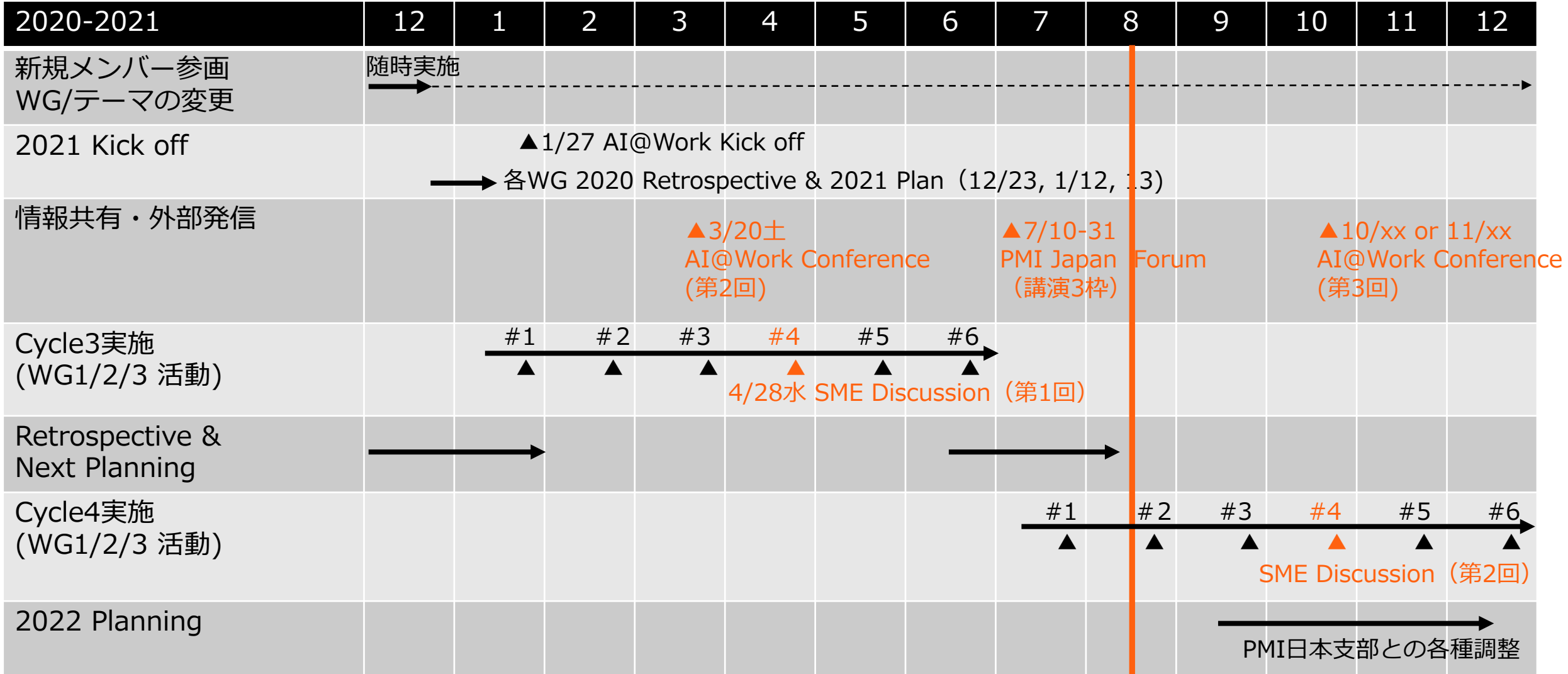
Active members アクティブメンバー数 (全期間*)

See how many people are active – meaning they posted a message or read at least one channel or direct message.



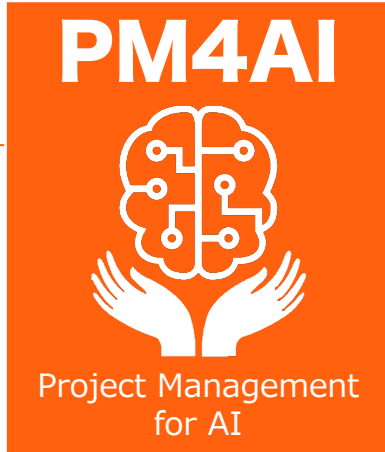
AI@Work - 2021 Master Schedule (as of 2021/8/15)

年2回のConferenceとSME Discussionの開催、PMIJ Forum（講演3枠）にて研究成果も对外発信



参考: 2021年1H実績 - Cycle 3 各WG研究テーマ

2020年(Cycle1&2)の成果を踏まえ進展 or 新テーマを設定、PMIJ Forumにて全WGより発信



6

5つのサブグループで研究を継続
(太字はPMIJ Forum 2021での講演テーマ)

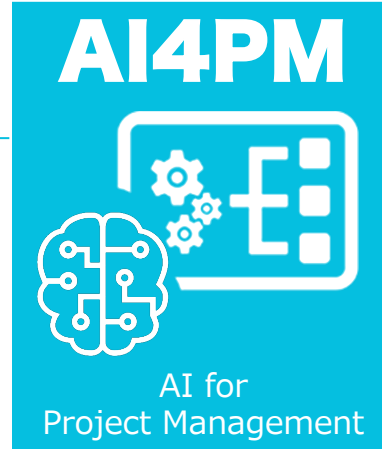
D0: AIプロジェクトの進め方

D1: **PoCからの実用化** (Cycle2総括)
実用化・実用化後の課題
(Cycle3より)

D2: **MLOps**

D3: **AIプロジェクト特有のリスク**

D4: **機械学習の品質マネジメント**



4

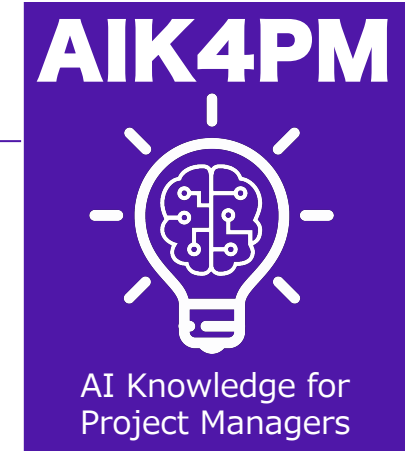
4つのサブグループに分かれて活動

A: AIレベル定義の完成
(2020年活動成果の対外発信)

B: AI商品のレベル照合

C: 領域 (人材、組織、PMO)
ごとの研究

D: モデル・プロジェクトで
デモ作成



2

「AIを理解する3段階」を推進

1. 知る

輪講「俯瞰図から見える
日本型“AI(人工知能)”ビジネス
モデル」大野治, 2017.12.

2. 理解する

JDLA G検定 勉強会

3. 使える

ML演習 (Cycle4開始に向けた準備)

AI@Work – Next Step 2022 (as of 2021/8/20)

引き続き、4つの方向性で取り組みを拡大し、成果のアセット化と研究内容の発展を図る

- AI関連団体（JDLA, 人工知能学会, 産総研… etc.）の発信は、研究対象とし情報共有・検討中
- PMI Globalと連携、Executive CouncilでのAI Knowledge NetworkをCo-Lead中（武上）
- Changemakers巻き込みとOutreachをさらに進め、知見の共有・発信により共に成長を図る

Go To AI Community

- 核となる知見に関し、より専門的・高度な議論ができる場としていく
- AI関連団体との連携 など

Go To Global Community

- AI×PMの視点
PM4AI/AI4PM/AIK4PMの普遍性
- PMI Global などでの連携・発信

Go To Evaluation

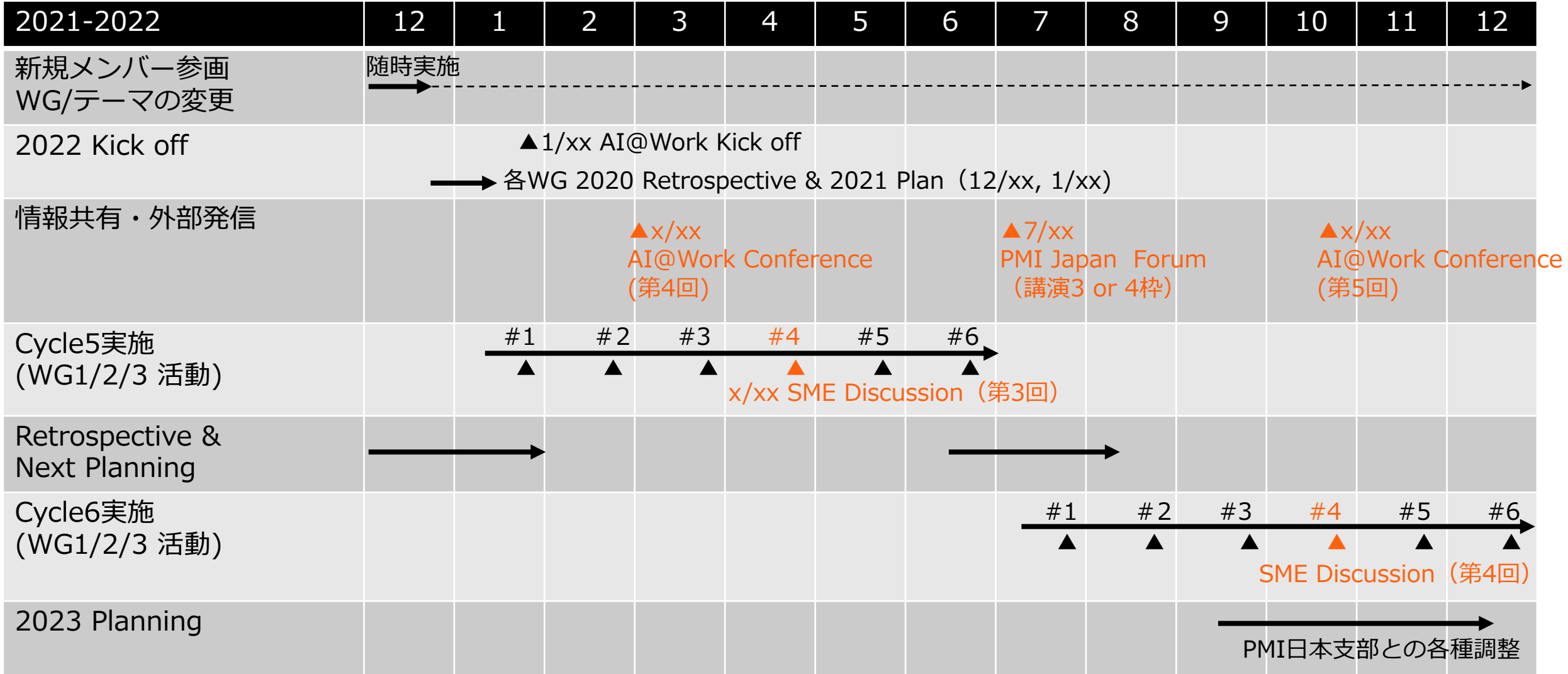
- 研究内容を磨き上げ世に問う知見としていく
(新規性・有効性・信頼性)
- 広域調査・事例収集の追加
PDSA (Plan-Do-Study-Act)

Mindset

- パンデミックにより加速されたDigital Transformation、Innovation、AI Readyの必要性 など

AI@Work - 2022 Master Schedule (as of 2021/8/25)

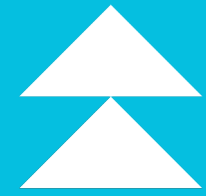
年2回のConferenceとSME Discussionの開催、PMIJ Forumでの講演等、研究成果も对外発信



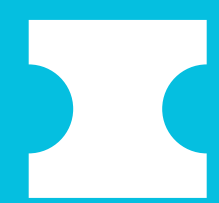
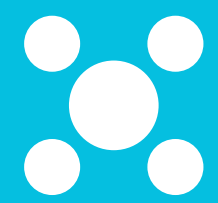
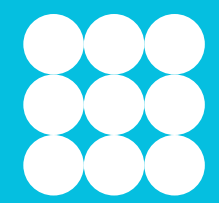
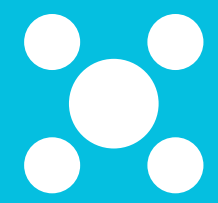
First Step to
AI Ready...

AI@Work
Study
Group





BACK UP



AI@Work – 2020年の成果 (as of 2021/1/18)

Virtual前提の運営で、自由で柔軟な環境を実現。研究とその価値を高める活動へ、シフトし注力。

Big is good

- 探求すべき/したい領域が多岐にわたるのがAI

- 大人数だからこそできることもある

21テーマ
29チャンネル
125名

Anywhere

- IT Toolの有効活用
(Slack + Virtual会議、Slido 他)
- 場所の制約からの解放
時間の有効活用

Active members **60-80**

Virtual/Open Collaboration

- Slack + Virtual会議で活発に研究活動成果もSlackで全員に常時共有

Messages sent **4,008**

Diversity

- 多様な実務経験・世代・立場・役割
(ユーザー企業・ITベンダー・AIベンチャー etc.)
- 多様な視点をもたらす新たな気づき

User **1/3** IT **1/2**

New Generation

- Digital Native世代との協業
PPPM, PMI会員 以外の参加

Non-PMIJ member **32%**

Asset & Skill

Forum発表 初回Conference

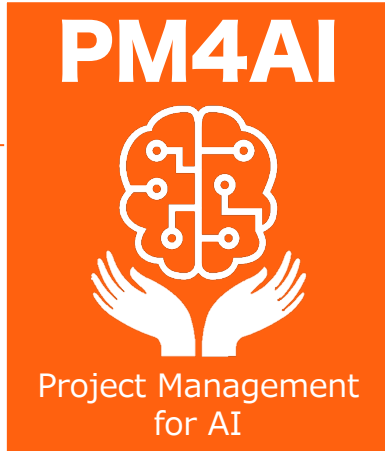
2 枠 **102**名参加

File Uploaded JDLA G検定合格

965 **4**名

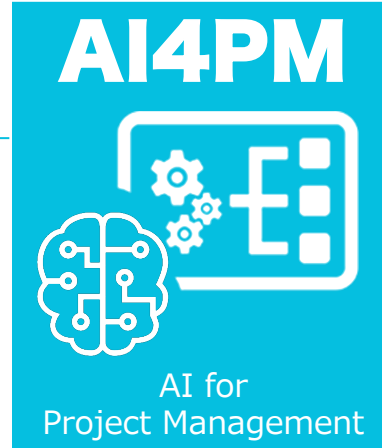
参考: 2020年1H実績 - Cycle 1 各WG研究テーマ

日々のやりとり (Slack) と月次ミーティング (Virtual MTG+Slido+Slack) で推進 (計11テーマ)



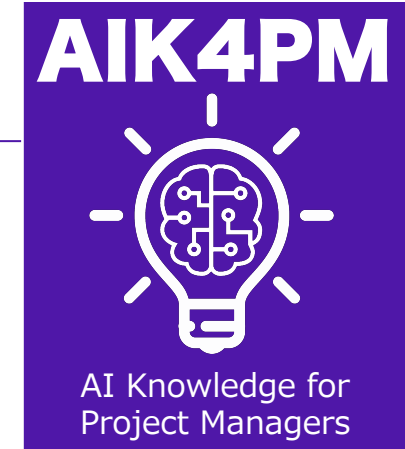
7

- ・ベンダーに発注する際の開発契約の留意点
- ・アノテーション
- ・PoCから実用化移行への成功要因
- ・運用保守 (MLOps)
- ・顧客への新たな価値提供
- ・AIプロジェクト特有のリスク
- ・全般的な従来型プロジェクトとの差異



2

1. サブグループA
悪化、失敗、
リスクに関する予兆・予測
2. サブグループB
現状の見える化
情報処理のサポート

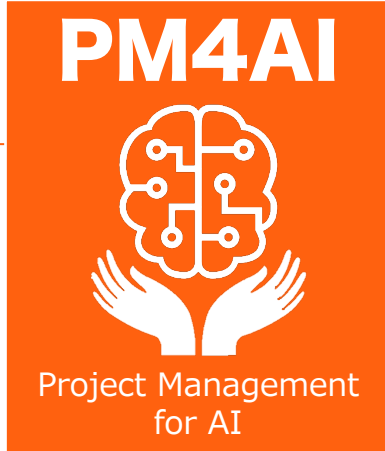


2

1. AI知識の習得
- 課題図書 of 輪講
『俯瞰図から見える
日本型“AI(人工知能)”
ビジネスモデル』
大野治, 2017.12.
2. PMに求められるAI知識の習得
- AIプロジェクト事例紹介

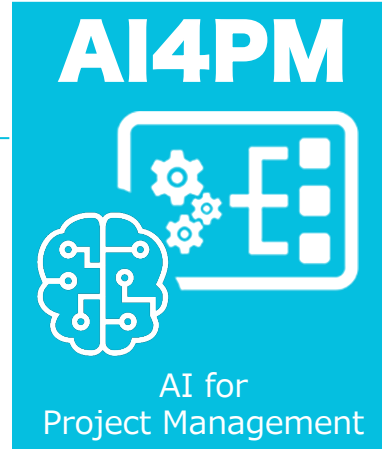
参考: 2020年2H実績 - Cycle 2 各WG研究テーマ

Cycle1での活動結果を踏まえ、さらなる深耕および新規のテーマを設定 (計10テーマ、累計21)



7

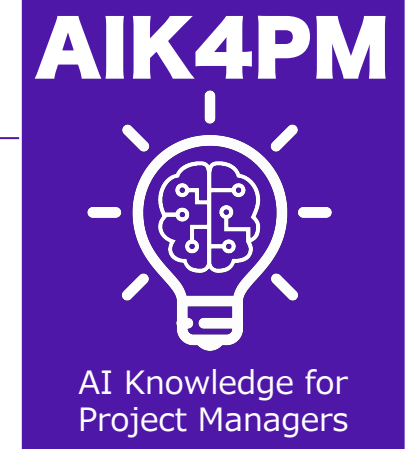
- プロジェクト成功要因・PoCから実用化への移行アプローチ方法
- 保守
- ベンダー発注側の作成する要求定義・RFP
- アノテーション
- AIプロジェクト特有のリスク
- 全般的な従来型プロジェクトとAIプロジェクトの違い
- AIプロジェクトマネジメント



1

Cycle1での検討ノウハウを結合、実現に向けての課題について、調査・整備

- ・現在のAI技術で実現可能な範囲
- ・情報をAIで統合管理するためのデータモデル論の整備



2

1. AI知識の習得
課題図書 of 輪講
『AI白書2020』
IPA, 2020.3.2
2. グループ別ディスカッション
 1. 輪講内容の深堀
 2. Deep Learning G検定勉強会

AI@Work 新設発表 (2019年12月3日)

AIの適用・活用をプロジェクトマネジメントの視点で捉え、あるべき姿や進め方を探求する、新たな研究グループAI@Workを設立いたします。

目的 (Purpose)	社会や経済に新たな影響力をもつAI、その適用・活用をプロジェクトマネジメントの視点で捉え、あるべき姿や進め方を探究・共有する
役割 (Mission)	世界レベルでAIの活用が進む中、プロジェクトマネジメントの観点から、日本のAI適用・活用の加速を図る
めざす姿 (Vision)	AI適用・活用プロジェクトに関わる多様な方々と、AI利活用でのプロジェクトマネジメントのあり方や、それら知見の活用・有用性を共有し、PMコミュニティを通じた醸成・発展に努める
戦略と 主要活動 (Strategy & Main Action)	<p>Making Opportunity: 研究・理解・共有の機会づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Case Study (ユースケースや進め方の探究) 2. Understanding of Technologies (AI技術の理解深耕) 3. Sharing Knowledge (各種の発信と情報共有)
基本事項 (Concept)	<p>Small Start (小さく始め大きく育てる)</p> <p>Sharing (知見の持ち寄り、情報共有・発信に努める)</p> <p>Speciality (専門力を強化する)</p>

募集開始14日間で
116名の申込

1/31 Kick off 129名
会場参加73名

COVID-19
K/Oが最初で最後の
Face to Face

参考: AI@Work - Slack利用状況 (as of 2021/1/18)

PMI日本支部AI-at-Work

Channels

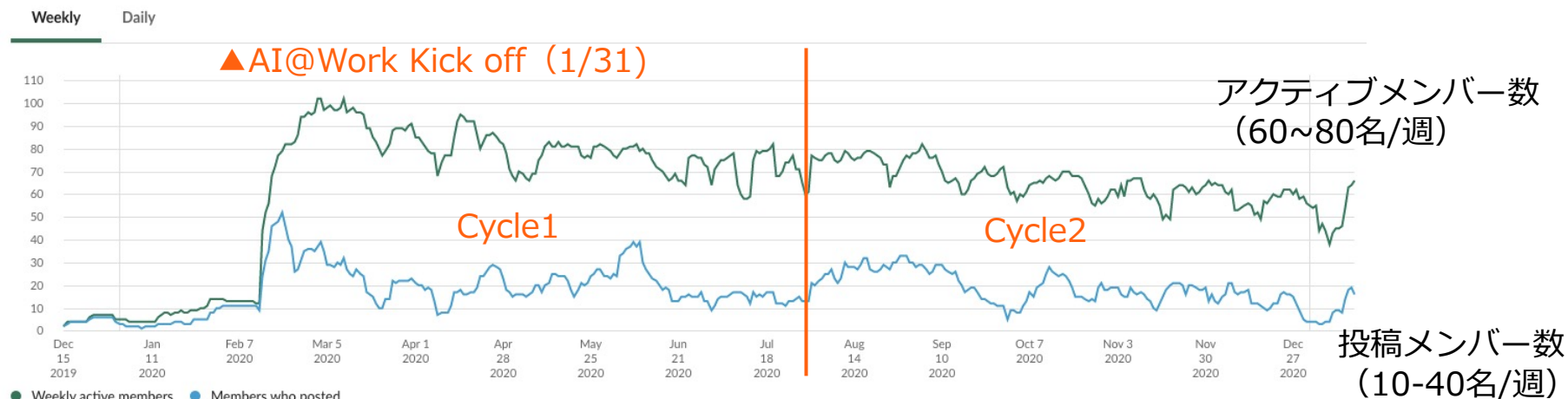
- advisoryboard
- # ai-at-work_final_doc
- ai-at-work_pmi-j-forum-2020
- ai-at-work-conference_200830_運営
- ai-at-work運営用
- # announcements
- # docs_copyrighted-to-others
- pi_data
- pmij_request_info
- # random
- # references
- # self-introduction
- wg1
- # wg1_aiリスク
- # wg1_cases
- # wg1_mlops
- # wg1_pocからの実用化
- # wg1_theme
- # wg1_プロジェクトマネジメント仮
- # wg1_全般的な差異
- # wg1_顧客価値創出
- wg1運営用
- # wg2
- wg2運営用
- # wg3
- # wg3-g検定team
- wg3運営用
- 事務局連絡
- 運営ツール課題

29
チャンネル

Active members アクティブメンバー数 (全期間*)

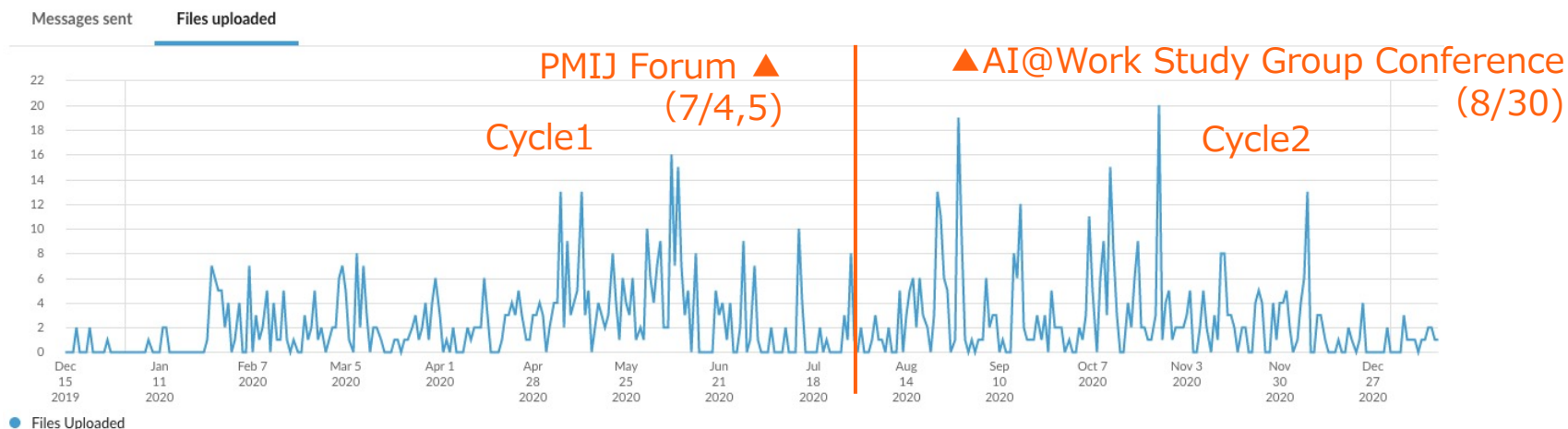
See how many people are active – meaning they posted a message or read at least one channel or direct message.

*Standard PlanによるAnalytics
(期間限定無料トライアル:1/18終了)



Messages and files ファイルアップロード数 (全期間*)

Learn how information is shared in your workspace.



全期間ファイルアップロード数 (965)

All time
Files uploaded: 965

AI@Work – Next Step (as of 2021/1/27)

今後、4つの方向性で取り組みを拡大し、成果のアセット化と研究内容の発展を図る

- AI分野の日進月歩に加え、知見の多くがPMIの外に存在、外部との連携は活動の前提
- AI×PMの視点（PM4AI/AI4PM/AIK4PMなど）は普遍性あり、日本・世界でもまだ限定的
- 質の高い知見を、内外に共有・発信することで、存在価値を高めていく

Go To AI Community

- 核となる知見に関し、より専門的・高度な議論ができる場としていく
- AI関連学会との連携 など

Go To Global Community

- AI×PMの視点
PM4AI/AI4PM/AIK4PM
の普遍性
- PMI Global などでの
連携・発信

Go To Evaluation

- 研究内容を磨き上げ
世に問う知見としていく
(新規性・有効性・信頼性)
- 広域調査・事例収集の追加
PDSA (Plan-Do-Study-Act)

Mindset

- パンデミックにより加速されたDigital Transformation、Innovation、AI Readyの必要性 など